

103-84

問題文

がん化学療法などの副作用の1つに骨髄抑制があり、特に()が減少すると、感染症の発症リスクが高くなる。

1. EO(好酸球比率)
2. SEG(分節核(分葉核)好中球比率)
3. PLT(血小板数)
4. RBC(赤血球数)
5. Hb(ヘモグロビン濃度)

解答

2

解説

骨髄抑制、感染症の発症リスク という用語から、おそらく「白血球」と最初に 連想したのではないのでしょうか。そこから 選択肢 3~5 は消去できると考えられます。

白血球と言っていました、白血球とは 顆粒球（好中球、好酸球、好塩基球）、単球、リンパ球の総称です。それぞれに固有の役割が存在します。

好酸球、好塩基球は **アレルギー反応** などにおいて 大きな役割を果たす、顆粒球の一種です。好中球は、**貪食作用**を持ち、**感染防止** に 大きな役割を果たす、顆粒球の一種です。

以上より、正解は 2 です。

参考)